

令和4年度

下野市

図書館評価報告書

令和5年7月

下野市立図書館

目 次

1. はじめに	
(1) 趣 旨	1
(2) 図書館評価の対象と評価方法について.....	2
2. 令和4年度 図書館月別利用状況報告	4
3. 図書館基本計画（第二次）成果指標	5
4. 総合評価（外部評価）	6
5. 図書館協議会委員による意見	7
6. 総評	1 1
7. 図書館協議会委員名簿	1 2
8. 図書館協議会会議の開催	1 2

1. はじめに

(1) 趣旨

本市では、平成25年度から、民間のノウハウを図書館運営に反映するため、石橋・国分寺図書館に指定管理者制度が導入されました。平成29年度からは南河内図書館を含め市内図書館3館全てが指定管理者制度の導入となりました。図書館の市職員と指定管理者がともに「子ども・市民の豊かな心の育成と地域文化の向上を目指して」を基本理念に、地域に開かれた効率的な図書館運営に努めてきました。

また、平成24年度の公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準の改正に伴い、県内各図書館に先駆けて平成26年度事業から図書館評価を始めました。

本年度も引き続き図書館評価を実施し、その結果をとおして今後の図書館運営の改善等に繋げ、さらなる向上を図ってまいります。

図書館評価に関する法令・基準の抜粋

◎図書館法

第七条の三 図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

◎図書館の設置及び運営上の望ましい基準

(平成24年12月19日 文部科学省告示第172号)

第二 公立図書館

一 市町村立図書館

1 管理運営

(一) 基本的運営方針及び事業計画

1 市町村立図書館は、その設置の目的を踏まえ、社会の変化や地域の実情に応じ、当該図書館の事業の実施等に関する基本的な運営の方針（以下「基本的運営方針」という。）を策定し、公表するよう努めるものとする。

2 市町村立図書館は、基本的運営方針を踏まえ、図書館サービスその他図書館の運営に関する適切な指標を選定し、これらに係る目標を設定するとともに、事業年度ごとに、当該事業年度の事業計画を策定し、公表するよう努めるものとする。

(二) 運営の状況に関する点検及び評価等

1 市町村立図書館は、基本的運営方針に基づいた運営がなされることを確保し、その事業の水準の向上を図るため、各年度の図書館サービスその他図書館の運営の状況について、(一)の2の目標及び事業計画の達成状況等に関し自ら点検及び評価を行うよう努めなければならない。

2 市町村立図書館は、前項の点検及び評価のほか、当該図書館の運営体制の整備の状況に応じ、図書館協議会（法第十四条第一項に規定する図書館協議会をいう。以下同じ。）の活用その他の方法により、学校教育又は社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、図書館の事業に関して学識経験のある者、図書館の利用者、住民その他の関係者・第三者による評価を行うよう努めるものとする。

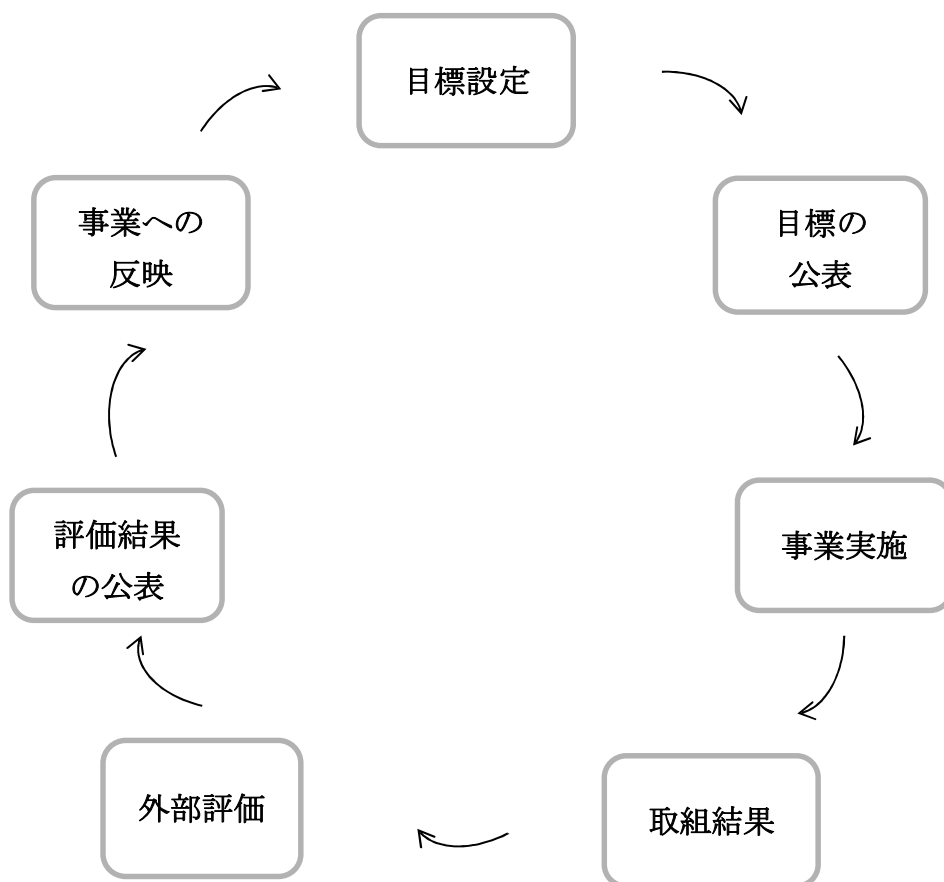
(2) 図書館評価の対象と評価方法について

下野市立図書館設置条例に規定されるすべての図書館の運営及びサービス全般を対象とし、市民の代表者である図書館協議会による外部評価を実施し、外部評価をもって総合評価といたしました。今回の評価結果に基づく課題の改善点などを所見としてまとめ、翌年度以降の事業に反映することといたしました。

評価方法については、5つの大項目と16の中項目に分類したうえで、36の小項目を定め、「中期的計画」・「単年度目標」を評価指標とし、評価してまいりました。

「取組結果」に応じて《評価基準》の中項目の評価基準によりA～Dを決定し各中項目の評価を決定いたしました。

図書館評価のながれ



《評価基準》

小項目＝参考

評 価	評価内容及び基準
A	計画通り事業を実施し、目標水準をはるかに超える成果がある。
B	計画通り事業を実施し、目標水準を満たしている。
C	計画通り事業を実施し、目標水準を満たしているが、一部に課題がある。
D	計画した事業、目標水準を満たしておらず、改善が必要である。

中項目・大項目評価

評 価	評価内容及び基準
A	当該分野について、はるかに上回る成果である。
B	当該分野について、概ね適正である。
C	当該分野について、改善が必要である。
D	当該分野について、相当な改善が必要である。

総合評価（外部評価をもって総合評価とします。）

評 価	評価内容及び基準
A	当該分野について、はるかに上回る成果である。
B	当該分野について、概ね適正である。
C	当該分野について、改善が必要である。
D	当該分野について、相当な改善が必要である。

2. 令和4年度 図書館月別利用状況報告

R5年3月末現在

月	貸出人数(人)			入館者数(人)			貸出数(冊)		
	石橋	国分寺	南河内	石橋	国分寺	南河内	石橋	国分寺	南河内
4	2,935	2,286	1,589	7,166	5,208	3,636	9,688	10,580	7,676
5	3,086	2,224	1,758	7,919	5,314	3,882	10,497	10,281	8,340
6	2,789	2,227	1,690	6,873	4,938	3,725	9,111	10,270	8,534
7	3,198	2,566	2,117	7,979	6,012	4,628	10,733	11,651	9,797
8	3,499	2,521	2,159	8,931	6,022	4,653	12,275	11,674	10,396
9	3,097	2,396	1,492	7,754	5,274	3,062	10,921	11,173	7,735
上半期	18,604	14,220	10,805	46,622	32,768	23,586	63,225	65,629	52,478
10	3,045	2,573	1,862	6,243	5,439	4,070	10,275	11,520	9,579
11	3,273	1,979	1,878	7,516	4,192	4,013	11,220	9,250	9,400
12	2,684	1,857	1,598	5,610	3,689	2,719	8,903	8,741	7,516
1	3,274	2,216	1,803	6,721	4,534	3,202	10,967	10,227	9,445
2	3,147	2,183	1,699	7,451	4,870	3,736	10,272	9,210	8,506
3	3,211	2,302	1,789	6,961	4,762	3,606	10,073	9,971	7,829
下半期	18,634	13,110	10,629	40,502	27,486	21,346	61,710	58,919	52,275
計	37,238	27,330	21,434	87,124	60,254	44,932	124,935	124,548	104,753
R3年度	33,641	27,030	19,163	81,667	53,984	39,520	118,086	126,806	100,639
対比	111%	101%	112%	107%	112%	114%	106%	98%	104%
合計	86,002			192,310			354,236		

開館日数	299	303	303						
日平均	125	90	71	291	199	148	418	411	346
月平均	3,103	2,278	1,786	7,260	5,021	3,744	10,411	10,379	8,729

◎新型コロナウイルス感染拡大防止対策に関する開館状況

- ・令和4年7月23日(土)～ レファレンス室(コーナー)の学習席等の利用時間変更(緩和)
 <変更前>①9:00～11:30 ②15:30～18:00 → <変更後> 9:00～18:00(1人1日1回まで)
- ・令和4年7月23日(土)～ 検索用OPACの利用再開
- ・令和5年1月 5日(木)～ セルフ貸出機の利用開始
- ・令和5年3月13日(月)～ マスク着用を要請から任意に変更、学習席・閲覧席の増数

- ※南河内図書館 9月 9日 ～ 9月15日 蔵書点検の為休館
- ※石橋図書館 10月 4日 ～ 10月10日 蔵書点検の為休館
- ※国分寺図書館 11月16日 ～ 11月22日 蔵書点検の為休館
- ※全図書館 12月26日 ～ 1月 4日 システム更新の為休館

3. 図書館基本計画（第二次）成果指標

(1) 知識と情報の拠点としての図書館

	指 標	現状値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
1	人口一人当たりの 貸出冊数(冊)	5.9	6.0	6.2	6.4	6.6	6.8	7
	実績		5.3	5.8	5.9			
2	図書館ホームページへの アクセス数(件)	486,090	505,080	563,340	572,510	581,670	590,840	600,000
	実績		554,179	561,076	573,140			

(2) 子どもの読書活動を推進する図書館

	指 標	現状値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
1	児童書の個人貸出冊数(冊)	151,873	153,230	154,580	155,940	157,290	158,650	160,000
	実績		141,103	160,434	163,050			
2	市内各小学校等、関係団体への 団体貸出冊数(冊)	20,137	21,780	23,430	25,070	26,710	28,360	30,000
	実績		16,040	18,341	17,448			

(3) 利用しやすく役立つ図書館

	指 標	現状値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
1	レファレンス受付件数(件)	6,393	6,460	6,530	6,600	6,670	6,730	6,800
	実績		5,592	7,570	7,903			
2	利用者アンケートによる 図書館の満足度(%)	87%	87.5	88.0	88.5	89.0	89.5	90%以上
	実績		90.0	89.0	91.0			

(4) 郷土の歴史と豊かな市民文化の拠点としての図書館

	指 標	現状値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
1	郷土資料の所蔵数(冊)	8,838	9,030	9,230	9,420	9,610	9,810	10,000
	実績		8,960	9,385	9,678			

(5) 市民とともにある図書館

	指 標	現状値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
1	講座・講演会等の事業 参加者数(人)	6,153	6,260	6,370	6,480	6,590	6,690	6,800
	実績		4,248	9,936	10,744			
2	図書館ボランティア 活動人数(人)	118	120	122	124	126	128	130
	実績		113	107	118			

4. 総合評価（外部評価）

大項目	中項目	小項目	石橋図書館	国分寺図書館	南河内図書館	
I と知 識 と の 情 報 の 図 書 の 館 拠 点	1.市民の要望に応えることができる 多様な蔵書の充実	1.資料の収集と保存	B	B	B	
		2.市民ニーズを把握した図書の収集				
	2.ICT等の活用による情報提供の充 実	1.ホームページの活用	B	B	B	
		3.サービスの提供の向上	1.インターネットによる調べ物の支援	B	B	B
		2.より容易で効率的な資料・情報の提供				
	II 子 ど も の 読 書 活 動 を 推 進 す る 図 書 館	1.学校との連携による子ども読書活 動の充実	1.学校図書館支援	B	B	A
2.小学校への読書普及活動の充実						
2.家庭での読書活動の支援		1.親子で読書を楽しむきっかけづくり	B	B	B	
		2.子ども読書活動の促進と普及活動				
		3.図書館情報の周知				
3.子どもの読書活動推進のための読 書環境等の充実		1.児童書の充実	B	B	B	
		2.小中学生向けの講座や読書案内の充実				
		3.点字絵本やLLブック、外国語図書の収集 ・提供				
		4.児童書の貸出冊数、市内各小学校等、 関係団体への団体貸出冊数				
III 利 用 し や す く 役 立 つ 図 書 館		1.柔軟な運営体制の構築	1.図書館評価	B	B	B
			2.民間企業の図書館活動への参加			
		2.利用者の課題解決に役立つ レファレンスサービス機能の充実	1.レファレンスサービス	B	B	B
	2.レファレンス受付件数					
	3.相互貸借					
	3.利用者の要望に応じたサービスの 充実	1.図書館サービスの充実	B	B	B	
		2.所蔵資料の活用				
		3.リサイクル				
	4.誰もが利用しやすい図書館 サービスの提供	1.乳幼児・児童サービス	B	B	B	
		2.高齢者サービス				
		3.障がい者サービス				
		4.外国人へのサービス				
	IV と な 郷 土 の 文 化 の 図 書 館 拠 点 か	1.地域情報の収集、保存、提供	1.地域資料・行政資料	B	B	B
		2.郷土資料の積極的な収集、保存、 提供	1.郷土資料	B	B	B
			2.歴史館・資料館等との連携			
		3.地域ゆかりの関係資料				
V 図 市 民 と と も に あ る	1.生涯学習の機会や交流の場の提 供	1.図書館ボランティア	B	B	B	
		2.レファレンス室資料の充実				
		3.開かれた図書館				
	2.市民との協働を推進し、市民と ともにある図書館づくりの実現	1.ボランティアの養成と支援	B	B	B	
		2.市民協働事業				
	4.利用者への接遇の向上	1.職員の接遇と人材育成	B	B	B	

5. 図書館協議会委員による意見

(1) 石橋図書館

- ・「著者を囲む会」で、講師の著書と共に講演テーマに関連した認知症の本も展示する等、イベントの際に関連資料の展示等を積極的に行ったことは評価できる。
- ・雑誌スポンサーの発掘に努め、2社に拡大できたことは評価できる。
- ・夏休みに市民団体の協力のもと原爆パネル展を行ったことは大変意義がある。非核平和都市宣言を行った市として、今後とも歴史を風化させないように続けていただきたい。
- ・館内が常に整備され、入り口付近には音楽が流れ、心落ち着く図書館である。また、季節毎に石橋地区内の児童生徒の作品が展示されているのも楽しみの1つである。大松山運動公園の利用者も多く、公園と共に地域の人々にとって欠かすことのできない施設になっていると思う。
- ・基本的なグリム関係資料が概ね収集できていることは評価できる。
- ・「母の日スペシャル」は、内容を工夫し、親子読書につながる良い企画だと思う。
- ・雑誌のリサイクル947冊全てを市民に還元することができたことは、素晴らしい。
- ・国際交流員のコラムのファイリングや、行政資料のカウンターでの保管等、工夫されていると思う。
- ・国際交流員によるドイツの伝統行事についての講演や、とちぎ国体開催のPRをタイムリーに行ったことは評価できる。

<課題>

- ・グリム童話関連本やドイツ関連本が充実してきているので、イベントとからめて有効活用されると良い。
- ・学校への年間貸出冊数が少ない。年1回の学校との意見交換会では十分な連携は難しいのではないかと。直接、集まりを持たなくてもメール等で定期的に連絡するようになると、より連携が深まるのではないかと。
- ・図書館のボランティア活動に興味を持っていただけるよう、ボランティア講座は定期的を開催して欲しい。

(2) 国分寺図書館

- ・国分寺図書館の特色である「医療関係」「YA向け」関連資料の充実、丁寧な各種取組の様子や成果が伝わり、素晴らしいと思う。
- ・分かりにくかった医療関連資料（49類書架）について、病名の見出しを作成してまとめることで改善を図ったことや、長期保存する資料の選定等での努力は特に評価できる。
- ・玄関ロビーのおすすめ本コーナーや階段下のピックアップコーナー、階段壁面の使い方等、とても良いと思う。
- ・「子どもの本ポップコンテスト」の投票をホームページやSNSでも展開したり、夏休みの「お寿司で学ぶSDGs」等、図書館の新しい姿を感じた。
- ・国立がん研究センターが発行しているがんに関する冊子とチラシを収集し、健康情報コーナーで展示した地道な努力については評価できる。
- ・美術館講座、予防医学講座、文学講座等、大人向けの講座も多方面で充実していると思う。特に予防医学講座は3回共多くの方が関心を持っている内容で良かったと思う。
- ・「ハロウィン図書館探検」「食に関する講座」「ダンボールクラフト」と、親子で楽しんで参加し、家庭での読書につなげる各種イベントを開催しており、良いと思う。
- ・視聴覚室のカーテンを補修したことや、車いすが常設されたことは良かった。
- ・ボランティア養成講座後、ボランティアへの新規加入に繋がったことは素晴らしい。

<課題>

- ・駐車場の白線が消えているので、はっきりとさせて欲しい。
- ・長年の要望にも関わらずエレベーターの設置がなされていないことは、大変残念に思う。
- ・図書館員が頻繁に変わってしまうと感じている。地元密着型の図書館になるためには、あまり好ましくないのではないか。

(3) 南河内図書館

- ・特設コーナーの企画は、毎回とても興味深い。タイトルのつけ方や展示のしかた、ポスター等も大変工夫されている。利用者参加型の物（子どもの本にまつわる思い出エピソード、おばけ投票等）は高く評価したい。読書推進にもつながっていると思う。
- ・音訳ボランティアグループこだま及び南河内小中学校美術部と協力し、伊藤忠記念財団主催の『マルチメディアデイジー図書日本昔話の旅』にエントリーし、南河内の民話を作成したことや、今年3月閉校した薬師寺・吉田東・吉田西小学校及び、南河内中学校の閉校記念誌を市職員を通して収集し、地域住民の思い出となる展示を行ったことは評価できる。
- ・南河内図書館の特色である児童書の収集が素晴らしい。
- ・ボランティアとの協働や、学校に出向いて話を聞く等、学校との連携に力を入れていることは大いに評価できる。今後もより一層力を入れていただきたい。
- ・団体貸出において保護者の協力を得られたことは、とても良いことである。
- ・図書館から少し離れた南河内東公民館での貸出やブックトークは、良い企画である。
- ・埋もれている図書が来館者の目に留まるよう、カテゴリーを工夫して色々な図書の展示を行っていることは評価できる。
- ・下野薬師寺についての講座や県立博物館との連携、閉校記念誌の掲示を高く評価したい。
- ・今年閉校した南河内地区の4校の記念誌の館内展示は、感慨深いものがあり、とても良い企画だった。

<課題>

- ・南河内小中学校との連携の強化、家庭と学校との読書促進の更なる向上を望む。
- ・南河内図書館の特色である児童書収集の充実をさらに望む。
- ・下野薬師寺関連の歴史講座は継続して実施していただきたい。

(4) 全図書館

- ・ホームページのアクセス数が目標値を達成していることは、市民の図書館への関心が高まっているからだと思うので、今後もタイムリーな話題や情報の提供をお願いしたい。
- ・令和3年度にWi-Fi環境が導入され図書館の利便性が向上した。希望意見が出てからスピーディーな対応が出来たと思う。
- ・行政と指定管理者が一体となって図書館づくりを行っているというメリットをよく生かしていると思う。館長会議や主任会議において蔵書管理や意見交換が計画的に行われている成果だと思う。
- ・おすすめ図書ガイドの提供は意義のあるものだと思うので、今後とも充実を図って提供を続けていただきたい。
- ・図書館サービスの提供や利用者への接遇については、アンケート調査でも概ね良好な回答が得られており、引き続きサービスの向上に努めていただきたい。
- ・3年に及ぶ新型コロナ感染拡大防止対策も3館連携して行っていただいた。検温器、図書除菌器、自動貸出機等の設置も速やかに行われ、効果的であった。今後も暫くは気を緩めずに進めていっていただきたい。
- ・自動貸出機導入は便利になり良かった。設置場所も適切だと思う。

<課題>

- ・ホームページが新しくなり見やすくなったと感じているが、以前見ることのできた詳しい書誌情報等が見られなくなったのは残念。また、図書館が伝えたい情報が主に書かれているのは当然としても、もう少しわくわくする感じのホームページになると良いと思う。
- ・今後の電子書籍の導入については、県内の図書館の導入事例を十分研究し、後発組としての利点を生かして、最善の形で導入できるよう検討をしていただきたい。
- ・電子書籍については、費用対効果（子どもたちの読み書き・読解力等）を考慮しながら検討していただきたい。
- ・学校図書館への支援については、図書館と学校とのそれぞれの役割分担に基づいて、よく連携しながら進めていくことが重要だと思う。
- ・インターネットでの情報は時として真偽が分かりにくいこともある。紙情報（書籍）で正しい情報を得ることが大切だと考える。

6. 総評

図書館協議会の総合評価（外部評価）において、各図書館とも概ね適正に運営されていると評価します。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策に配慮し、図書館3館で様々な事業を開催し、学習の機会が提供されました。

石橋図書館では、スポーツ振興課と連携し、とちぎ国体コーナーでの撮影スポットの設置や幟旗への応援メッセージの記入等のPRがタイムリーに行われました。また、国際交流員による「ドイツのクリスマスの過ごし方」や文化財課の職員による「下野古麻呂と下野国」が開催されました。

国分寺図書館では、自治医科大学と連携した予防医学講座「感染症（講師：自治医科大学 病院助教）」「腰痛（講師：自治医科大学 学内准教授）」「あなたの大腸ダイチョウブ（講師：自治医科大学 講師）」が開催されました。また、図書館では全国初となる「お寿司で学ぶSDGs（調べる学習支援講座）」が開催されました。

南河内図書館では、令和4年3月に閉校した薬師寺・吉田東・吉田西小学校及び、南河内中学校の閉校記念誌を収集し、地域住民の思い出となる展示が行われました。また、県立博物館の特別企画展「鑑真和上と下野薬師寺」の内容と連動させた下野薬師寺住職による歴史講座が開催されました。

これらの講座はいずれも関連資料の展示等を併せて行うことにより、貸出冊数が増加するといった相乗効果が見られました。

全体として時機に合ったものであり、国や県と連動した取組等が出来たと評価します。

しかしながら、令和4年度の評価結果や意見を真摯に受け止め、図書館運営の改善を図ることが必要と考えます。今後も市民のニーズを把握し、積極的に情報を発信し、図書館サービスが向上することを望みます。

7. 図書館協議会委員名簿

氏 名	所 属 等	備考
青木 ムツミ	学識経験者	
鈴木 一恵	学識経験者	
大垣 玉枝	学識経験者	
星野 輝世	石橋図書館ボランティア	
下山 千恵子	国分寺図書館ボランティア	
松本 有幸	南河内図書館ボランティア	
高木 智子	公募委員	
黒川 厚子	公募委員	
伊澤 敏子	しば保育園長	令和4年度委員
野口 恵美	しば保育園長	令和5年度委員
高橋 修一	国分寺小学校長	

8. 図書館協議会会議の開催

図書館協議会は、図書館法第14条及び下野市立図書館設置条例に基づき設置されています。図書館評価については次のとおり会議を開催いたしました。

開 催 日	会 議 内 容
令和4年 1月25日(水)	取組結果のプレゼンテーション
令和4年 3月15日(水)	外部評価実施について
令和5年 5月25日(木)	外部評価実施について
令和5年 7月12日(水)	評価結果報告・公表について

